

2022講演会

自動運転の普及に向けた取り組み

～社会的に受容される安全性の確保を目指して～

参加費
無料

AUTOMATED DRIVING

日時

2022年 **6/9** 木
13:30～17:20(開場13:00)

会場

東京大学 伊藤国際学術研究センター
(東京都文京区本郷7-3-1)
及びオンライン開催(ハイブリッド開催)

東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅 徒歩8分 /
都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅 徒歩6分 /
千代田線「湯島」駅又は「根津」駅 徒歩15分



現地 + オンライン **ハイブリッド開催のご案内**

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が不透明な中、参加者の安全を最優先に考え、対面形式とオンライン配信を併用したハイブリッド形式にて開催することいたしました。今後の感染拡大状況に応じて、変更が生じる可能性がありますので、予めご了承ください。最新情報は随時、ホームページにてご確認ください。

お申込方法

交通安全環境研究所のホームページから事前登録をお願いいたします。事前登録時に、参加方法を「会場／オンライン配信」から選択可能です。会場にて参加される方は、先着順のため、定員に達した場合は、オンライン配信での参加となります。

会場参加

会場にて参加される方は、申込受付完了メール(印刷、スマホ画面)を受付で、ご提示ください。

WEB参加

お申し込みいただいたメールアドレス宛てに後日、ZoomのURLを送付いたします。当日は指定のURLよりアクセスいただくご視聴いただけます。なお、配信は定刻の10分前頃より開始する予定です。事前にアクセスいただき、映像や音声が入るかどうかのチェックをお願いいたします。
※カメラの接続は必要ありません。

お申込方法・その他詳細はホームページをご覧ください。

事前登録制・申込み締切 6月7日(火)17時まで

<https://www.nts-el.go.jp>

検索



交通安全環境研究所 講演会のご案内

自動運転は、その実現により交通事故の削減、高齢者等の移動手段の確保、物流分野における生産性の向上、渋滞の解消等、我が国の抱える様々な社会課題の解決に大きな役割を果たすことが期待されております。

政府では2025年を目途に高速道路においてレベル4の完全自動運転を実現するとの目標を掲げ、官民一体となって自動運転の早期実現に取り組んでいます。一昨年3月に世界初のレベル3の自動運転実用化を日本で実現できたことについて、当研究所は自動ハンドルやサイバーセキュリティ等の自動運転に係る国際基準の策定と、自動運転車の迅速な認証審査を通じて大きく貢献して参りました。次は更なる自動運転の政府目標である2025年目途のレベル4の実現に向けて、引き続き貢献していきたいと考えております。

交通安全環境研究所では、様々な社会的課題の解決のために取り組んでいる多岐にわたる研究活動について、広く関係者の皆様にご理解いただくため、毎年講演会を開催しております。

本年度は「自動運転の普及に向けた取り組み～社会的に受容される安全性の確保を目指して～」をテーマに掲げ、自動運転車が車線変更した際の周辺車両への影響や、自動運転中に許容可能な二次タスク(運転とは関係ない作業)の安全性評価等をはじめ、レベル4の実用化に関連する研究についてご紹介させていただきます。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会場での対面とオンラインでの参加のハイブリッド方式での開催と致します。双方の形式からご参加いただく皆様から忌憚のないご意見をいただくことにより、交通安全環境研究所の活動をさらに充実・発展させ、社会的な期待と信頼に応じていく所存でございます。

自動運転に関する専門の方から一般の方まで、幅広い方々のご来場及びご視聴を心よりお待ちしております。

令和4年5月

独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所長 江坂 行弘

令和4年度 交通安全環境研究所 講演会

自動運転の普及に向けた取り組み

～社会的に受容される安全性の確保を目指して～

プログラム

13:30～13:35	開会の挨拶	交通安全環境研究所長 江坂 行弘
13:35～13:45		自動運転を取り巻く状況について 自動運転研究統括監 自動車安全研究部長 河合 英直
13:45～14:25	招待講演1	自動運転に関する昨今の国内・国際基準の動向 ～日本の強みを活かした安全な道路交通の実現に向けて～ 国土交通省 自動車局車両基準・国際課 安全基準室長 猶野 喬氏
14:25～14:50	講演1	リスク最小化制御実行中の車線変更時の安全性に関する実験的考察 自動車安全研究部 上席研究員 児島 亨
14:50～15:15	講演2	人間ドライバによる高速道路上での車線変更挙動の調査 自動車安全研究部 主席研究員 田中 信壽
15:15～15:45	休憩	
15:45～16:25	招待講演2	自動運転レベル4における自動運転に携わる者の義務と責任 ～ドイツの改正道路交通法との比較～ 多摩大学経営情報学部専任講師 樋笠 堯士氏
16:25～16:50	講演3	人間ドライバの実交通環境における認知反応時間に関する研究 自動車安全研究部 研究員 中川 正夫
16:50～17:15	講演4	二次タスクが運転引継ぎ行動に及ぼす影響の評価 自動車安全研究部 上席研究員 関根 道昭
17:15～17:20	閉会の挨拶	理事 坂本 一朗

※講演内容・講演者は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

お申込方法 事前登録は右記ホームページよりご確認ください。

<https://www.ntsels.go.jp>

検索

お願い ●ビデオ・写真・レコーダー等による撮影及び録音はご遠慮ください。 ●ご視聴の際にはアンケートへのご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先 交通安全環境研究所2022講演会事務局 TEL:03-3554-5039 E-mail:kouen22@stage.ac

